

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	日本文化史	
科目基礎情報							
科目番号	600101			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	生産工学専攻（環境材料工学コース）			対象学年	専1		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	資料プリント、関係映像など						
担当教員	佐伯 徳哉						
到達目標							
1、伝統的な日本の産業文化の特色を述べるができる。2、石見銀山と類似資産との比較が論理的にできる。3、伝統的な日本の産業文化の価値を近代産業の中でどう活かしているか、考えをまとめ論じることができる。4、東アジア的・世界史的な交流という視点から日本史の動きを説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	伝統的な日本の産業文化の特色を、映像・画像・考古遺物など関連させながら分析し、論理的に文章表現できる。			伝統的な日本の産業文化の特色を、映像・画像・考古遺物などをてがかりに述べるができる。		伝統的な日本の産業文化の特色を、映像・画像・考古遺物などから読み取ることができない。	
評価項目2	石見銀山と類似遺産との比較を、映像・画像や文献を分・関連させながらいくつかの範疇から総合的に文章で表現することができる。			石見銀山と類似遺産との比較を、映像・画像や文献をてがかりに複数の事象から述べるができる。		石見銀山と類似遺産に関するエッセイ増・画像や文献から情報を読み出せない。	
評価項目3	伝統的な日本の産業文化の価値を近代産業の中でどう活かしているか、基本的な考え方を現場においてどう実践できるか両面からオリジナルな考えを論じることができる。			伝統的な日本の産業文化の価値を近代産業の中でどう活かしているか、基本的な考え方として論じることができる。		伝統的な日本の産業文化の価値を近代産業の中でどう活かしているか論じることができない。	
評価項目4	東アジア的・世界史的な交流と日本史の動きを有機的に関連付けながら文章で表現できる。			東アジア的・世界史駅な交流と、日本史の動きに関する個別知識を述べるができる。		ドブ時台の東アジア史・世界史や日本史の動きを述べられる知識が身についていない。	
学科の到達目標項目との関係							
教養・技術者倫理 (D)							
教育方法等							
概要	前近代における日本の産業の特色と歴史的意義を、石見銀山遺跡の世界遺産登録の過程で行われた文献史学・考古学・地理学・科学などの多角的研究と、類似遺産との比較研究をひもときながら考える。						
授業の進め方・方法	講義形式、課題プリントによる自学自習						
注意点	本科で学習した歴史1（世界史）・歴史2（日本史）や地理の内容						
本科目の区分							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	世界遺産と産業遺産		東アジア的・世界史的な交流と日本史の動きを有機的に関連付けながら文章で表現できる。		
		2週	石見銀山遺跡の概要と世界遺産登録へのプロセス		伝統的な日本の産業文化の価値を近代産業の中でどう活かしているか、基本的な考え方として論じることができる。		
		3週	石見銀山の通史		東アジア的・世界史的な交流と日本史の動きを有機的に関連付けながら文章で表現できる。		
		4週	石見銀山の日本史上の意義		東アジア的・世界史的な交流と日本史の動きを有機的に関連付けながら文章で表現できる。		
		5週	石見銀山の世界史上の意義		東アジア的・世界史的な交流と日本史の動きを有機的に関連付けながら文章で表現できる。		
		6週	石見銀山遺跡の構成資産とその特徴（1）		伝統的な日本の産業文化の特色を、映像・画像・考古遺物など関連させながら分析し、論理的に文章表現できる。		
		7週	石見銀山遺跡の構成資産とその特徴（2）		伝統的な日本の産業文化の特色を、映像・画像・考古遺物など関連させながら分析し、論理的に文章表現できる。		
		8週	石見銀山遺跡の構成資産とその特徴（3）		伝統的な日本の産業文化の特色を、映像・画像・考古遺物など関連させながら分析し、論理的に文章表現できる。		
	4thQ	9週	類似する世界遺産との比較検討（1）		石見銀山と類似遺産との比較を、映像・画像や文献を分・関連させながらいくつかの範疇から総合的に文章で表現することができる。		
		10週	類似する世界遺産との比較検討（2）		石見銀山と類似遺産との比較を、映像・画像や文献を分・関連させながらいくつかの範疇から総合的に文章で表現することができる。		
		11週	類似する世界遺産との比較検討（3）		石見銀山と類似遺産との比較を、映像・画像や文献を分・関連させながらいくつかの範疇から総合的に文章で表現することができる。		
		12週	比較検討をまとめる（作業）		石見銀山と類似遺産との比較を、映像・画像や文献を分・関連させながらいくつかの範疇から総合的に文章で表現することができる。		

		13週	石見銀山の顕著な普遍的価値に関する国際的議論 (1)	伝統的な日本の産業文化の特色を、映像・画像・考古遺物など関連させながら分析し、論理的に文章表現できる。石見銀山と類似遺産との比較を、映像・画像や文献を分・関連させながらいくつかの範疇から総合的に文章で表現することができる。
		14週	石見銀山の顕著な普遍的価値に関する国際的議論 (2)	伝統的な日本の産業文化の価値を近代産業の中でどう活かしているか、基本的な考え方として論じることができる。
		15週	期末試験	
		16週	日本の前近代の産業文化から何を学びどう活かしているか	伝統的な日本の産業文化の価値を近代産業の中でどう活かしているか、基本的な考え方を現場においてどう実践できるか両面からオリジナルな考えを論じることができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験 80	発表5	相互評価	態度5	ポートフォリオ	その他10	合計	
総合評価割合	80	5	0	5	0	10	100	
基礎的能力	80	5	0	5	0	0	90	
専門的能力	0	0	0	0	0	10	10	